

地域を基盤とした大学で働けるよろこび

祉学科の榊原次郎と申します。

当センターは「北海道、特に名寄市を中心とした道北地方における保健・医療・福祉・教育等の充実・

発展及び地域並びに産業の振興に住民と連携して取り組み、教育・研究の発展に資する地域貢献を図ることを目的」として設立されてい

りながら、教育・研究の発展に資する地域貢献につとめてまい

りますので、ご支援の程どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

当センターは平成28年に設立されていきますので、今年で10年を迎えます。更に当センターの前身である道北地域研究所時代から換算しますと、40年以上を経過することになりま

センターの方が長きにわたりこの地で活動を続けてこられた

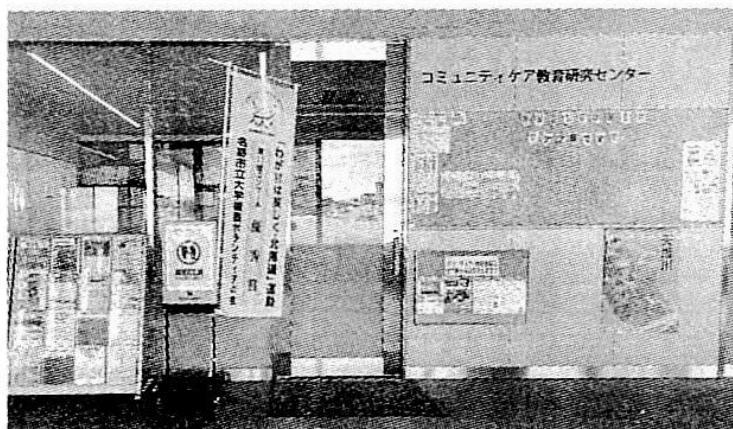
大先輩であります。私の自己紹介を簡単にさせていただきます。

私の前職は社会福祉士で、26年間埼玉県内の病院と診療所で医療ソーシャルワーカー・ケアマネジャーとして働いていました。その後、様々なご縁が重なり令和4年からお世話になっていますが、

学会です。

私はシンポジストで医療と福祉の連携についてソーシャルワーカーの立場からお話をしましたが、同じシンポジストで

看護学科の先生が発表をされていまして、その際、北海道にある最北の国公立大学であること、「小さくてもきらりと光る大学」として、学生と教員、地域と大学が密接にかかわっている、まさに地域を基盤とした大学という



ことが分かりました。着任すると更に本学の良さを実感しました。学生と教員、地域と大学だけでなく、地域の皆様と学

生が密接にかかわっていること、これが何よりも本学の魅力であり、強味だと感じました。これからも地域を基盤とした大学で働けるよろこびを胸に、努力を続けていきます。す。

名寄市立大学コミュニティケア教育研究センター長
榊原次郎